



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

## 自転車、人、車が安全に 通行できる環境づくり



んには。市長の中尾友昭です。駅周辺の歩道にあふれていた放置自転車などが無くなり、下関駅から唐戸まで、自転車道がなりました。自転車、人、車がそれぞれ安心・安全に通行できる交通環境の創出を目指した『サイクルタウン下関構想』を策定し、推進しています。

下関駅周辺では、「下関駅にぎわいプロジェクト」により、3箇所の有料自転車等駐車場と、そこに至る自転車道を整備しました。併せて、下関駅周辺を「自転車放置禁止区域および自転車等放置抑制区域」に指定し、自転車などの駐車対策を進め、駅周辺の放置自転車が無くなり、歩道も大変きれいな状態になりました。さらに、自転車道が整備されたことで自転車が快適に通行でき、人や車との接触事故防止によって、人や車も安全に通行できるようになりました。

以前は商業施設前の車道は幅が広く、駐車後も通行できる幅が残っていました。送迎のために駐車する車が多く、自転車と駐車した車や乗降する人が交錯して、いつ事故が起きてもおかしくない危険な状態でした。今回の整備では、

このような危険性も改善しました。車を降り降りする場所は、東口駅前広場だけでなく、西口、南口にも、一般用と身障者専用を整備しています。

南口交通広場はシーモール駐車場の交差点が進入口となっています。こちらは、建物の1階部分に整備していますので、雨天時にも雨にぬれることなく乗り降りができ、隣接する商業施設へも接続して大変便利です。

自転車道は、みもすそ川付近の国道9号でも、整備が進められています。将来的には、下関駅から長府地区までつながり、素晴らしい関門海峡の景色を見ながら自転車を楽しむことができるようになります。



「イクルタウン下関構想」は、自転車だけでなく、人や車にもやさしい環境づくりを進めるものです。さらに、交通の面だけでなく、観光面での効果も期待され、市としては今後も力を入れていきたいと考えています。

これからも自転車、人、車が安心して安全に通行でき、回遊しやすいまちづくりを進めていきます。

## しものせきナビ vol.61

幕末維新紀行

### 長府藩主毛利家墓所

功山寺：長府川端一丁目2番3号  
笑山寺：長府川端二丁目4番1号  
覚苑寺：長府安養寺三丁目3番10号



長府藩主毛利家墓所は、長府の功山寺・笑山寺・覚苑寺の三寺院に分かれて営まれています。各墓所は、長府藩主家の墓制のありようを今に伝える貴重な事例として、平成26年12月2日に山口県指定史跡となりました。長府藩の歴代藩主は、藩祖毛利秀元から14代元敏まで続きます。このうち功山寺には、藩祖秀元を含め6人の藩主墓などがあります。三寺院の墓所で最も規模が大きく、唐破風付笠塔婆をはじめ、五輪塔・宝篋印塔・神道式方柱という長府藩主家での



長府藩主毛利家墓所(功山寺) 通常非公開

採用された墓標のすべてを見ることが出来ます。

笑山寺には、2代と7代の藩主墓などがあります。とりわけ圧巻なのが、県内最大級とされる二代光広の五輪塔(4・13m)で、見ごたえがあります。覚苑寺には、3代・6代・13代の藩主墓などがあります。功山寺と笑山寺では、遺体を埋葬しない詣り墓(埋葬墓は東京都泉岳寺)を基本とするのに対し、覚苑寺では埋葬墓であることが大きな特色です。

歴史散策に絶好の季節に、長府城下町を形づくり、激動の幕末維新へと連なる歴代藩主の墓所巡礼はいかがでしょうか。  
園文化財保護課 ☎254-4697